



発行/こおげ建設(株)
八頭郡八頭町宮谷200番地2
TEL (0858) 72-0029 FAX (0858) 73-0668
E-mail: info@koge.co.jp
<http://www.koge.co.jp>

Boo Foo Woo
Vol. 67
2014. 6. 28 Sat

人が家が健康になる
健康空気循環システム



高気密 高断熱
ファースの家

Never give up
がんばろう日本!
つなげる想い・つなげる希望



蚊の気になる季節です

蚊は種類により吸血する時間が異なり、アカイエカは夕方から夜にかけて、ヒトスジシマカ(通称:ヤブ蚊)は昼から夕方にかけて吸血します。

また、浄化槽で発生して吸血するのがチカイエカです。地下などでも見かける蚊もこのチカイエカで、年中発生します。

蚊のエネルギーは糖分で、普段は花の蜜などを吸って生活しています。

メスだけが産卵の栄養源として吸血し、人が出す炭酸ガスや皮膚の匂い温度を感じることによって吸血源を探し求めます。

蚊の生態

アカイエカやヒトスジシマカ(ヤブ蚊)は一般的な蚊です。

蚊は水のあるところに卵を産み付けますが、蚊の種類によって、水のきれいな所を好むもの、汚い所を好むもの、広い場所を好むもの、空き缶や秋分などのわずかな溜り水を好むものなど多様です。

そのため、幼虫(ポウフラ)の生息場所も、池や下水溝、浄化槽、水田、古タイヤ、墓地の花立、空き缶など様々です。ヒトスジシマカやヤブ蚊は、空き缶に溜まったような少量の水で増殖できます。



蚊の一生

アカイエカは、気温が25度〜30度だと、わずか1日ほどで卵から成虫になるので、条件が整えば爆発的に増えることがあります。



蚊の害

蚊に刺されるとかゆみを生じます。これは、吸血の際、抗凝血作用物質(血が凝固することを防止するためのもの)を含んだ唾液を注入されるこの唾液によってアレルギー反応を起こすためです。

しかし、蚊の被害で最も恐ろしいには、蚊に刺されることにより伝染病に感染することです。蚊が媒介する伝染病として日本では日本脳炎が知られています。ペットの病気としてフィリア、海外でマラリア、デング熱、ウエストナイル熱などがあります。

日本脳炎は豚を宿主としてコガタアカイエカが媒介する感染症で、豚を隔離してコガタアカイエカを駆除することで沈静化し、最近では患者数は年間数名程度になりました。

一方、近年アメリカ全土を恐怖に陥れているウエストナイル熱は、この種類以上の鳥を宿主とし、この種類以上の蚊が関与しており、感染の拡大を防ぐのは不可能です。航空機などの交通機関による日本への侵入も懸念されています。

蚊を撃退

実は、蚊の行動範囲は狭いのです。行動範囲は半径十〜三十メートルで、生まれてたところからあまり動かないようです。

蚊の幼虫のポウフラは、水中で成長し孵化します。少量の水でも生存できるため、バケツやじょうろを使ったらこまめに水を捨て、ためないことが大切です。

鉢植えや受け皿など水を捨てられない場所もあります。

そんな場所には、「銅」を入れておくとポウフラの発生を抑制することができます。

銅は銅線などをお使いください。

蚊に刺されてしまったら

保冷剤など冷たいものを当てること、蚊に刺されたかゆみをわすれられるといえます。脳は2つ以上の刺激が入ってくると、どちらを優先に感じるべきか優先順位をつけるのですが、身体を守る上で脳は「かゆさ」よりも「冷たさ」を優先するというのが理由です。

刺激の優先順位

- ① 痛い
- ② 熱い
- ③ 冷たい
- ・ ・ ・
- かゆい

セロハンテープや絆創膏を貼るのも方法で、蚊に注入された毒液が空中の酸素から遮断されることでかゆみの進行がおさまるといって科学的根拠もあるそうです。

どん太くんのちよつといい話

頭の回転が速くなる?

脳を鍛える

1)、その日、一日の出来事を思い出す

寝る前、布団に入った後、その日の朝から寝る前までにあった出来事を1つ1つ、思い出して言葉に出しましょう。ポイントは、頭の中で考えるのではなく言葉に出して言うことです。

2)、食べ物に頼らない

脳に良い食べ物はありますが健康体であるのが一番です。

3)、睡眠をしっかりとる

心地の良い眠りを得るには、リラックスした感情を作りましょう。

4)、ウォーキング

ウォーキングやストレッチは、脳に非常に良いとされています。激しい運動はだめですが、歩くや体を伸ばすなどはとても良い効果をもっています。

5)、初めてのことをする

初めてのことをするのは、使った事のない部分の脳を使うため、脳の様々な部分に刺激を与えることができます。

6)、人とのコミュニケーションを増やす

ラインやメールのような活字ではだめです。対面での「言葉によるコミュニケーション」を心がけましょう。

7)、早起きをする

健康体に通じる部分があります。

